



G空間情報を利用した 街コン支援システム

グループ名：福井大学 橋研究室

提案代表者：福井大学 博士課程2年 浦山 康洋

参加者：福井大学 修士課程2年 小柳 裕樹

福井大学 修士課程2年 畑中 崇志

G空間情報を利用した街コン支援システム

概要

本システムは、G空間情報を利用して街コン参加者を支援するシステムである。このシステムでは、GPSで取得した各街コン参加者の現在位置が地図上に表示され、事前に登録された各参加者の情報（年齢、趣味など）を確認できる。これにより街コン参加者は、広い街コン会場から趣味の合う相手、まだ出会えていない相手、マッチングによって選ばれた相手などを容易に発見できる。

街コン支援システム“まっちゃんG00！”

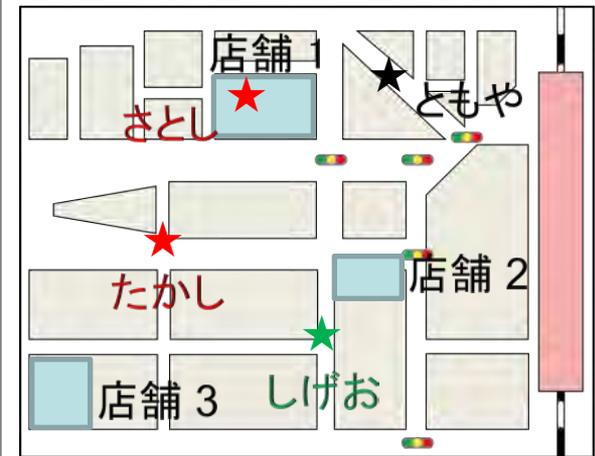
アカウント名、
年齢、趣味などの
情報を事前登録



①専用のHPから
ユーザ情報を登録



②GPSで街コン参加者
の位置情報を収集



③アプリを利用して
参加者の情報を確認

G空間情報を利用した街コン支援システム

動機と社会的ニーズ

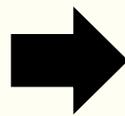
- 福井駅前の過疎化[1]
- 繁華街である片町商店街でも来客数が減少



再開発完了
予想図

- 駅前の活性化に街コンを活用
 - 街コンの経済効果は約1430億円
 - 出会いの場を創出し少子高齢化対策
 - 北陸では街コンの認知度が低い
(2012年の街コン開催回数、全国：約2000回、北陸45回)

街コンを支援する
システムを提案



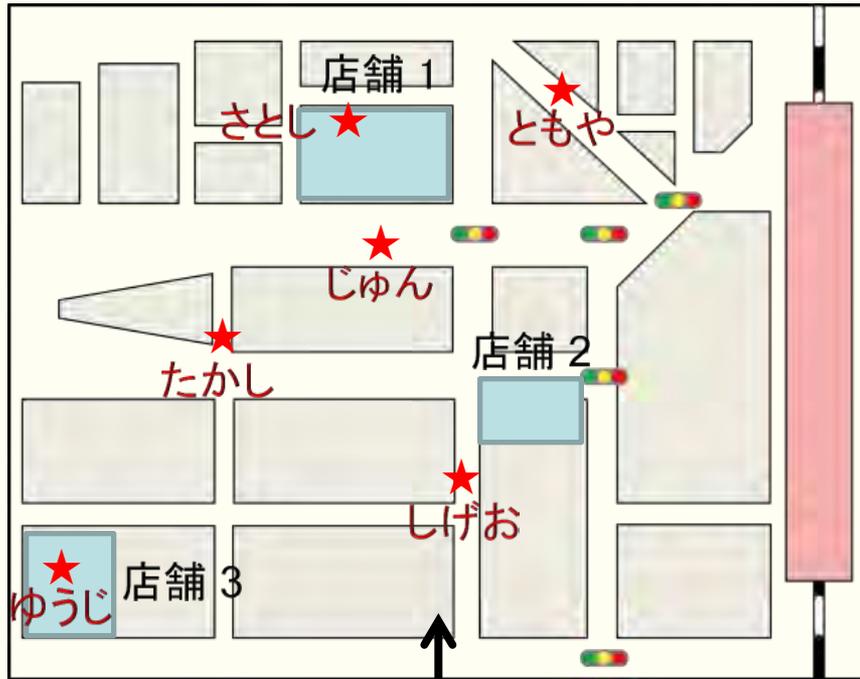
街コン参加者の満足度を向上
認知度の上昇・駅前の活性化

[1] 福井市HP, <http://www.city.fukui.lg.jp/index.html>

G空間情報を利用した街コン支援システム

街コン支援システム“まっちゃんぐ”の機能

- 事前の登録情報に基づくソート機能



参加者の位置情報を
確認できる地図画面

趣味

- 読書 旅行 スポーツ
- 音楽 ファッション
- 映画 グルメ

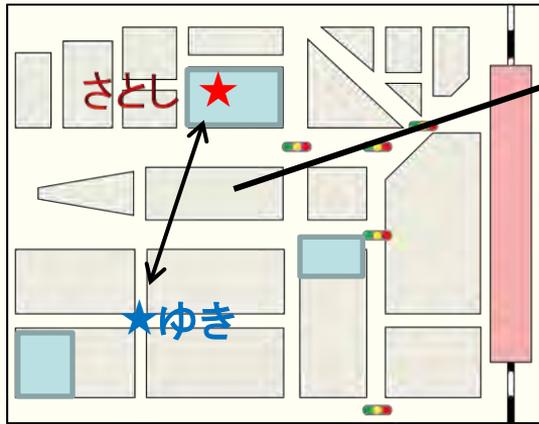
表示する情報を絞り込む
メニュー画面（ユーザが操作）

広い街コン会場から趣味の
合う相手を容易に発見！！

G空間情報を利用した街コン支援システム

街コン支援システム“まっちゃんぐ”の機能

- まだ出会えていない相手の探索機能



街コン参加者同士の距離を計算し判定
(サーバにあるGPSの履歴を使用)

より多くの参加者と出会う
ことが可能に！！

- 相性ピッタリの相手を見つけるマッチング機能

1. 街コン参加者が会場内を散策
2. お気に入りスポットの位置情報をサーバへ送信
3. 受け取った情報を基にマッチング



G空間情報を利用した街コン支援システム

対象ユーザとマーケットサイズ

- 福井県在住の20代の男女



- 福井県内に住む20代の人口：
約66000人（平成27年10月1日現在） [2]
- 福井県内の大学生（短期大学含む7校）：
約11000人

G空間情報を利用した街コン支援システム

普及方法



駅前や飲食店に
ポスターを掲示



Twitter、Facebookなどの
SNSを活用

アピールポイント



- 広い街コン会場においてより多くの好みの合う参加者と出会うことが可能になり満足度を向上



- システム利用者の積極的な街コン参加により会場となった地域をアピール



- 導入コストが安価

G空間情報を利用した街コン支援システム

まとめ

- G空間情報を利用した街コン支援システム
“まっちゃんGOO！”を提案
 - ① 街コン参加者の位置情報をリアルタイムで確認
 - ② GPSの履歴から参加者同士の出会いを判定
 - ③ お気に入りスポットを送信することにより相性の良い相手をマッチング
- 街コン参加者の満足度が向上し開催地域の活性化が期待